

第205回 大阪小児科学会

◆◆ プ ロ グ ラ ム ◆◆

■Aセッション(14:00~14:36)

座長 柳原恵子(大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科)

1. 脳保護療法を施行した重症頭部外傷の6歳男児

高槻病院 小児科¹⁾, 同 小児脳神経外科²⁾, 千里救命救急センター³⁾
郷間環¹⁾, 起塚庸¹⁾, 山中巧²⁾, 橋村裕也¹⁾, 林振作¹⁾, 大谷尚之³⁾,
原田敦子²⁾, 山崎麻美²⁾, 南宏尚¹⁾

2. ダウン症に発症した点頭てんかんの8例に対する治療効果

大阪医科大学 小児科

福井美保, 島川修一, 畑中マリ, 野村昇平, 玉井浩

3. 片頭痛の自律神経機能評価

大阪医科大学 小児科¹⁾, OD低血圧クリニック田中²⁾
吉田誠司¹⁾, 田中英高²⁾, 玉井浩¹⁾

■Bセッション(14:36~15:12)

座長 今村卓司(PL病院 小児科)

4. 頸部X線が診断及び治療効果判定に有用であった咽後膿瘍の4例

中野こども病院

坂泰介, 藤代定志, 中村祥崇, 亀岡一夫, 赤川翔平, 石井紘介, 笠原道雄,
森伸生, 藤井喜充, 村上貴孝, 圃府寺美, 木野 稔

5. 緊急開腹術を要した卵巣腫瘍破裂の10歳女児例

高槻病院 小児科¹⁾, 千船病院 小児科²⁾,
高槻病院 小児集中治療科³⁾, 同 小児外科⁴⁾, 同 病理診断科⁵⁾
藤坂方葉¹⁾²⁾, 起塚庸¹⁾³⁾, 大西聰¹⁾³⁾, 上田陽子¹⁾, 橋村裕也¹⁾, 林振作¹⁾,
富岡雄一郎⁴⁾, 津川二郎⁴⁾, 岩井泰博⁵⁾, 西島栄治³⁾⁴⁾, 南宏尚¹⁾

6. 母体ヨウ素過剰摂取による甲状腺機能低下症の1例

松下記念病院 小児科

森潤, 藤木敦, 石田宏之

■Cセッション(15:12~15:48)

座長 吉田葉子(大阪市立総合医療センター 小児不整脈科)

7. 凝固能低下を伴う急性肝炎を呈した川崎病の2歳男児例

大阪大学大学院医学系研究科 小児科学¹⁾, 淀川キリスト教病院²⁾
里村宜紀¹⁾, 小西暁子¹⁾, 安田紀恵¹⁾, 長谷川泰浩¹⁾, 別所一彦¹⁾, 近藤宏樹¹⁾,
三善陽子¹⁾, 大薗恵一¹⁾, 和田珠希²⁾, 塩見夏子²⁾, 西原正人²⁾, 佐野博之²⁾

8. 胎児頻拍で診断され、12歳時にICDを植え込んだLQT2の1女児例

大阪府立母子保健総合医療センター 小児循環器科

平野恭悠, 青木寿明, 豊川富子, 金川奈央, 田中智彦, 河津由紀子, 濱道裕二,
稻村 昇, 萱谷 太

9. 新生児退院診察時に偶然発見されたWPW症候群の一新生児例

大阪医科大学附属病院 小児科¹⁾, 市立ひらかた病院 小児科²⁾

田中智子¹⁾, 進藤圭介²⁾, 小田中豊¹⁾, 尾崎智康¹⁾, 岸 勘太¹⁾, 片山博視¹⁾,
玉井 浩¹⁾

■総 会(15:48~16:10)

議 長 大島 利夫 (ベルランド総合病院 小児科)

1. 会計報告
2. 委員会報告
3. 平成26年優秀演題賞表彰

教 育 講 演(16:10~17:10)

座 長 江原 英治 (大阪市立総合医療センター 小児循環器内科)

「児童・生徒の心臓系突然死 —BLS (一次救命処置) としてのAED」

近畿大学 小児科 篠原 徹

• A~Cセッションは講演各6分, 討論各6分とし, 教育講演50分, 討論10分とします。

第1回「低線量被ばくを考えるセミナー」

日 時：4月4日(土)

大阪小児科学会（大阪市大医学部学舎4階大講義室）終了後開催
17:20から, 医学部学舎18階会議室に移動 20:00 終了予定

講 師：松崎道幸氏 (道北勤医協 旭川北医院 院長)

講師紹介：松崎先生は内科の先生ですが、放射線被ばくの影響にご造詣が深く、低線量被曝と健康被害を考える上で、我が国的第一人者でおられます。北海道原爆訴訟で原告側証人として証言され、また、福島原発事故では住民を放射線被ばくから守る提言を行っておられ、著書や訳書も多数あります。多くの人々にご参加をいただきながら、小児医療を担うものとして問題を深め、考えていきたいと思っています。ご参加いただけることを心より願っています。

主催：大阪小児科学会地域医療委員会